令和６年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和６年８月１６日

１．団名
衆議院アジア各国における司法・法務事情等調査議員団

２．目的
アジア各国における司法・法務事情等調査のため

３．派遣議員団

団長	法務委員会	委員長	武部　新（自民）
	法務委員会	理　事	牧原　秀樹（自民）
	同	理　事	道下　大樹（立憲）
	同	理　事	大口　善徳（公明）
同行	衆議院調査局調査員		橘　弘毅

４．派遣期間
令和６年７月２５日（木）から８月１日（木）までの８日間

５．派遣国
シンガポール、ネパール、タイ

６．主な調査内容
（１）シンガポール
① 国際刑事警察機構シンガポール総局（ＩＧＣＩ）を訪問し、業務の概要、サイバー犯罪の現状、課題等について説明を聴取し、意見交換を行った後、局内を視察した。
② シンガポール国際仲裁センター（ＳＩＡＣ）を訪問し、隣接するMaxwell Chambers（国際商事仲裁・調停のための専用施設で、仲裁の準備や、口頭弁論や証人尋問を行う審問で利用）を視察した後、国際商事仲裁の動向、同センターの業務の概要等について説明を聴取し、意見交換を行った。
③ チャンギ刑務所を訪問し、受刑者の更生、社会復帰支援の取組等につ

いて説明を聴取した後、意見交換を行った。

④ ＪＥＴＲＯシンガポール事務所を訪問し、シンガポールの経済情勢と日系企業の動向について説明を聴取した後、意見交換を行った。

（２）ネパール（カトマンズ）

① Nepal Japan Sewa Center（日本語学校）を訪問し、日本への留学希望者等に対する日本語教育の概要等について説明を聴取し、意見交換を行った後、校内を視察した。

② アルジュ・ラナ・デウバ外務大臣を訪問し、日本への技能実習生、特定技能外国人等の送出し等について意見交換を行った。

③ Empowerment Asia Language and Culture Center（日本語学校）を訪問し、日本の監理団体と連携した技能実習生等の送出しの取組等について説明を聴取し、意見交換を行った後、校内を視察した。

④ ラム・チャンドラ・ポーデル大統領を訪問し、日本への技能実習生、特定技能外国人等の送出し、日系企業のネパール進出のための環境整備等について意見交換を行った。

⑤ カトマンズ市内において、ネパール・日本友好議員連盟と、両国間の交流等について意見交換を行った。

⑥ サラット・シン・バンダリ労働・雇用・社会保障大臣を訪問し、日本への技能実習生、特定技能外国人等の送出しの現状と課題、技能実習生等の帰国後の就職先の確保、日系企業のネパール進出のための環境整備等について意見交換を行った。

⑦ プラカシュ・マン・シン副首相兼都市開発大臣を訪問し、日系企業のネパール進出のための環境整備等について意見交換を行った。

⑧ japantown（日本への留学・就職に関する情報提供、日本語教育等のサービスを提供するハブ機関）を訪問し、施設内を視察した後、日本への留学・就職希望者に対する日本語教育、両国間の産官学連携の取組等について説明を聴取し、意見交換を行った。

⑨ DN International（技能実習生等の送出機関）を訪問し、日本への技能実習生、特定技能外国人等の送出し等について説明を聴取し、意見交換を行った後、併設の日本語学校である Kantipur Japanese Language Center を視察した。

（３）タイ（バンコク）

① 国会議事堂を訪問し、タイ日友好議員団と、両国間の交流等について意見交換を行った後、議員団の案内で下院の本会議を傍聴した。

② シリントン少年院を訪問し、少年矯正（特に社会復帰教育の取組）について説明を聴取し、意見交換を行った後、施設内を視察した。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。